

学校通信『自分に自信と夢を』 第72号 文責 古澤

「確かな学力」の育成 ～分かる授業を目指して～ 特集2

夢中で学び、高め合う児童をめざして
～「生活数理」から、主体的・対話的で深い学びへ～

今号では、「生活数理」についてと、研究主題に迫るための授業実践の一部を紹介します。

「生活数理」とは

実生活の中にある課題を解決していく際に、算数で学んだことを活用して数理的に考えるだけでなく、生活経験や価値観を加えて判断したことを、生活に生かしていく教科

(1) 実生活の中からの学習課題

- ①子どもにとってのリアリティ ②解決に必要な情報に数理がある
- ③実生活をよりよくできる

(2) 算数で学んだこと、数学的な生活経験で課題解決できる学習過程

- ①切実感・こだわりのもてる学びに ②数理的な根拠をもとに学び合う
- ③意志決定し、振り返る

(3) 「思考・判断・表現」する学習活動

- ①数学的な思考 ②多様な情報から選択、分析
- ③複数の選択肢からの意思決定 → 納得解

* 大津小学校が研究しました「生活数理」が本になって出版されています。



想いをバトンにのせて～リレーの作戦を立てよう



6年生は、運動会の練習期間を通して、総合的な学習の時間（生活数理）に「想いをバトンにのせて～リレーの作戦を立てよう～」を学習しました。全員リレーの練習の中で、「小学校最後の運動会での全員リレーに向けて、リレーの特性やよさに気づき、ベストの走りを実現する作戦を数理や想いを基に立てていきましょう」と学習の目標と学習への意欲を高めていました。

「ベストなリレー」を追求するため、ICT機器を効果的に活用しました。一人一人がタブレットの基本的な操作方法を習得するとともに、個々の考えが全体で共有できるよう電子黒板に表示するなどの学習も進められました。

9月2日（水）に校内研修として、授業参観及び授業研究会を行いました。なお、この日は、大津町教育委員会から校内研修訪問として来校されました。



総合的な学習の時間（生活数理）単元：「想いをバトンにのせて～リレーの作戦を立てよう～」
学級：6年3組 授業者：徳永拓也先生・敷地久子先生・渡邊由美先生



参観者が約50名となるため、広い廊下で授業を行い、3密を避けました。授業のめあてである【ベストのリレーができる最後の4人の走順を考えよう】に向け、最初に自分の考えをノートに書き込みました。

（写真①）次に、タブレットで自分の考えを撮影して、班ごとに友だちとの対話により、考えを高め合っていました。（写真②）終末には、電子黒板に全児童の考えが表示され、3名の児童から自分が考えた走順と、その理由の発表がありました。（写真③）運動会当日、6年生は授業での学習を生かし、バトンに想いをのせて見事な走りやバトンパスを見せられました。3年生も、運動会の団体競技「合わせて×3～心と動きとアマビエを～」では、算数で学んだ計測で使いやすい箱を選んだり、落とさずに速く運ぶ作戦を考えたりして、新しい「生活数理」を開発しました。（写真④）



挑戦・感謝・支え合い 困難に打ち勝て！